

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 【新】豊富なアウトドア資源を活用した誘客プロモーション事業費 (R8分)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 観光誘客推進課 国内誘客係 電話番号：058-272-1111(内3959)

E-mail：c11336@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 140,586千円 (現計予算額： 0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	140,586	63,890	0	0	0	0	0	0	76,696
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

本県は、豊かな自然、春夏秋冬の年間を通じて様々な自然アクティビティを楽しめる地域であるとともに、スキー場、アウトドア用品店、キャンプ用品メーカーなど、アウトドアに関わる事業者が多く、国内では指折りエリアである。

また、本県の地域資源は”ウェルネス””リトリート”など健康に繋がるものが多く、「観光×アウトドア×健康」の親和性が高い。

一方、一つひとつの地域資源は個別にPRされているものの、一体的なプロモーションが不足していることから、全国有数の自然アウトドアの宝庫であるにもかかわらず、全国的な認知度は十分でない。

そこで、全国的な認知度向上、リピーター創出、地域経済の活性化を図るため、本県の豊富なアウトドア資源を活かすとともに、癒しや健康をフックとして、体験事業者、オンライン旅行会社、交通事業者、アウトドア関係企業等と連携した一体的なプロモーションを実施する。

(2) 事業内容

・基本デザイン・ツール作成等全体戦略	21,780千円
・特典付キャンペーンBOOK制作	21,766千円
・旅行会社と連携した旅行商品造成・販売促進	24,200千円
・交通事業者と連携した旅行商品造成・販売促進	35,266千円
・広報PR	30,879千円
・アウトドア関係企業等との連携	5,990千円
・その他事務費	705千円

(3) 県負担・補助率の考え方

県全域への誘客促進は県の事業である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	139,881	・基本デザイン・ツール作成等全体戦略 21,780千円 ・特典付キャンペーンBOOK制作 21,766千円 ・旅行会社と連携した旅行商品造成・販売促進 24,200千円 ・交通事業者と連携した旅行商品造成・販売促進 35,266千円 ・広報PR 30,879千円 ・アウトドア関係企業等との連携 5,990千円
報償費	189	・プロポーザル評価会議報償費
旅費	513	・業務旅費・費用弁償
会議費	3	・プロポーザル評価会議費
合計	140,586	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (2) 次世代を見据えた産業の振興
 - ④世界に選ばれる持続可能な観光地づくり

- ・岐阜県経済・雇用再生戦略
 - 6 世界に選ばれる持続可能な観光地づくり
 - (5) ターゲット層のニーズに合わせた魅力発信

(2) 国・他県の状況

長野県：Go Nature. Go Nagano. (アウトドアカルチャーの情報発信)
三重県：みえのあそキャン (アクティビティ・遊び体験の割引等)
熊本県、山口県：交通事業者と連携した大型観光キャンペーンの実施

(3) 後年度の財政負担

観光消費額拡大のためには、岐阜県の観光情報を効果的・継続的に発信する必要があるため、後年度も継続。

(4) 事業主体及びその妥当性

県全体の誘客に資するものであり、県主体が妥当

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

本県の豊富なアウトドア資源を生かすとともに、「ウェルネス」「リトリート」など健康を掛け合わせ、関係事業者等と連携した一体的なプロモーションにより、ブランドイメージを構築することで、本県の更なる認知度向上、観光消費の拡大を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 ()	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①観光消費額		3,044億円	3,100億円	3,300億円	3,600億円	84.6%
②観光入込客数 (実数)		4,365万人	4,800万人	4,900万人	5,300万人	82.4%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)
3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価)

- ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)
3：期待以上の成果あり
2：期待どおりの成果あり
1：期待どおりの成果が得られていない
0：ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価)

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
アウトドア資源を活用した一体的なプロモーションが不足しており、本県の認知度向上及び観光消費額の増加を図るために継続した取組が必要。

(次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
国内誘客については、県内宿泊施設をはじめ観光事業者からの要望も多く、県が誘客に積極的に取り組むことが重要であるので、県内事業者との連携により、継続して事業を実施する必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	